

# 石川県立高松病院で診療を受ける(受けた)皆様へ

## —診療データの調査研究への使用のお願い—

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。本研究は、石川県立高松病院の倫理委員会の審議に基づき、院長の許可を得て実施するものです。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、各研究の問い合わせ先にお問い合わせください。

1. 研究課題名	精神科病院における長期入院者の暴力の実態調査			
2. 対象患者	2019年10月1日時点で当院に1年間以上入院している患者様約150名(認知症を除く)			
3. 研究期間	2019年11月 ~2020年3月			
4. 研究責任者	氏名	松原 弘幸	所属	北3病棟
5. 研究の意義	これまで精神科長期入院者において暴力のある者とならない者で比較し、臨床的特徴の違い等を調べた研究はほとんどありません。暴力のリスクは家族や支援者にとって大きな恐怖となり、社会復帰を阻害します。暴力発生の背景や特徴を明らかにし、未然に防ぐための示唆を得ることで、患者様および支援者が安心して外出や外泊を試み、退院へ向けた調整へと進むための関わりの一助となります。			
6. 研究の目的	精神科病院の長期入院者における暴力の実態を明らかにします。			
7. 研究の方法 (使用する資料等)	2019年10月1日時点で当院に1年間以上入院している患者様約150名(認知症を除く)を対象に、以下の方法で調査・分析を行います。 1)診療録からの情報収集を行い、記述統計量を算出する。 2)過去1年間に暴力のある群とない群の2群について臨床的特徴の違いを分析する。  診療録上のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、またデータを使用させていただいた患者様への謝礼等もありません。			

9. 個人情報の保護	<p>収集したデータは、誰のデータか分からなくした(匿名化といいます)上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針(「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」)に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。</p>				
10. 研究協力の任意性と撤回の自由	<p>この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報を利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時にすでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく担当者にご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。</p> <p>また、患者さんのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は以下の連絡先までお申し出ください。</p>				
11. 利益相反に関する状況	<p>この調査研究は、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものでなく、利益相反状態にはありません。</p>				
12. 問い合わせ先	<p>石川県立高松病院 北3病棟 松原 弘幸</p> <table border="1" data-bbox="563 1402 1525 1449"> <tr> <td data-bbox="563 1402 715 1449">電話</td> <td data-bbox="715 1402 1034 1449">076-281-1125</td> <td data-bbox="1034 1402 1169 1449">FAX</td> <td data-bbox="1169 1402 1525 1449">076-282-5356</td> </tr> </table>	電話	076-281-1125	FAX	076-282-5356
電話	076-281-1125	FAX	076-282-5356		